

田中町見守りネットワークについて

1 経緯

社会問題となっている自殺や高齢者の孤独死は、核家族化が原因とも言える一人暮らし世帯や高齢者世帯が年々増加する中で人間関係が希薄な生活を送っていたことや、閉じこもりなどが原因となっています。「孤立化防止」及び「孤独死防止」の取り組みは、地域住民が主体となって自治会役員、民生・児童委員、老人クラブ、ボランティア、子ども会などの協力のもとネットワーク組織づくりを行なう必要があるとの考えから進めています。

2 活動の経緯

- 平成23年4月1日に（仮称）田中町見守りネットワーク組織の設立について、町内に回覧で設立の趣旨の周知を行なうとともに会員を募集しました。
- 平成23年4月20日に（仮称）田中町見守りネットワーク組織の役員・会員で規約などを確認し、ネットワーク組織が活動する対象世帯などを調査するためアンケート用紙（別添①）を作成しました。
- アンケートは、（仮称）田中町見守りネットワーク組織の会員が各家庭に訪問し、任意で回答を得ました。
- アンケート調査を整理し、災害時の避難誘導希望者や見守り家庭訪問希望者のリストアップを行ないました。
- 平成23年6月12日に田中町見守りネットワーク設立総会を行い、規約、緊急連絡網（別添②）、避難誘導希望者や見守り家庭訪問希望者に対し担当を取り決めました。
- 避難場所を清洲東小学校と清洲市民センターに決定しました。
- 平成23年6月20日に避難誘導カード（別添③）を作成し、避難誘導や見守り家庭訪問希望の確認を行ないました。また、避難誘導カードを避難誘導希望者に配布するとともに、田中町見守りネットワークの緊急連絡網を配布しました。
- 平成23年9月3日に開催が予定されていた清須市総合防災訓練では、見守りネットワークとして独自に緊急連絡網を使用した訓練を実施し、開始から11分で情報伝達することができました。

3 田中町見守りネットワークの活動

- 見守り家庭訪問希望者に対してアンケート調査に基づく見守り訪問活動を行なっています。
- 毎月、サロン事業に参加して、会員と支援希望者との交流を図っています。
- 避難誘導希望者や見守り家庭訪問希望者の状況の変化に対応した見守り配置図（回覧）を作成しました。
- 田中町見守りネットワーク避難連絡網（別添④）を作成し、緊急時の情報提供や避難誘導に対応するように進められています。

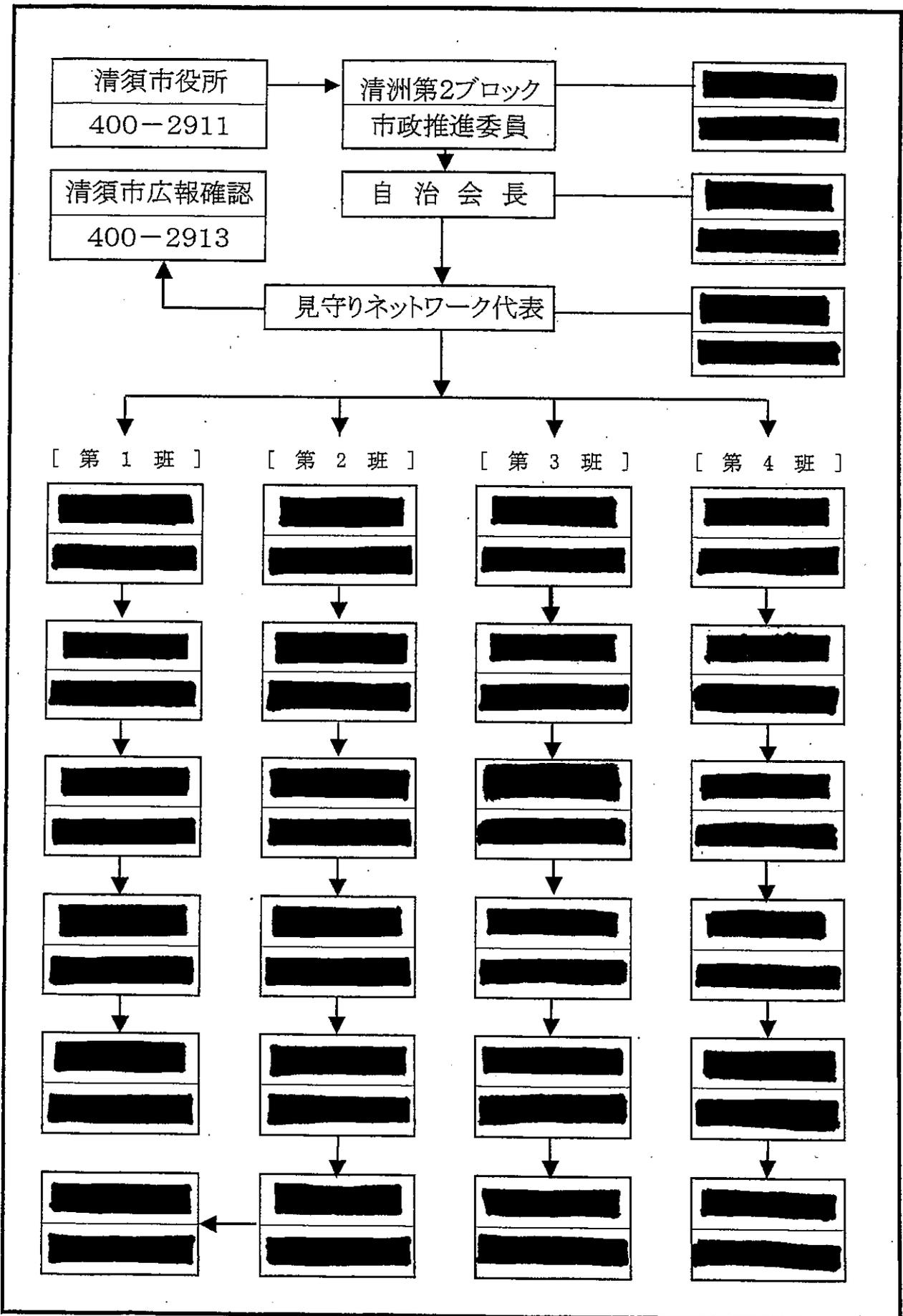
アンケート調査票

本人氏名					
生年月日	大正・昭和	年	月	日	歳
住 所	清洲		組		
世帯構成	高齢世帯(世帯主名)・一人暮らし				
配偶者名					
自宅電話	— —				
緊急連絡先	住 所				
	電話番号	— —			
希望訪問回数	週	必要なし・1回・2回・3回・4回・5回以上			
寿会入会	有・無				
避難誘導	希望する・希望しない				
<p>アンケート調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。この調査を有効に活用し、会員の協力のもと安否確認、閉じこもり防止などの活動をおこない、住み慣れた田中町で安心して生活できるようにしたいと思います。</p>					

田中町見守りネットワーク緊急連絡網

別添②

平成24年4月



※黒塗り部分の上段は氏名、下段は電話番号です。

避難誘導カード

別添③

平成24年4月1日

様

※清須市水害対応ガイドブックより

様

※清須市地震防災ハザードマップより

『水害の場合』

・指定避難場所 清洲市民センター 052-409-6471

・避難誘導担当者

・電話番号

〔避難情報の流れ〕（清須市役所より発表）

↓
【避難準備情報】

- ・大雨による洪水の危険における避難の必要の可能性があると判断された場合に発表され、余裕を持って避難が出来るよう準備する。
- ・非常持ち出し品の準備をする。

↓
【避難勧告】

- ・川の氾濫による浸水の危険があるため、避難場所へ避難することを勧めるため発表される、避難を開始する
- ・避難場所と安全な避難経路を確認する。

『地震の場合』

・広域避難場所 清洲市民センター 052-409-6471

田中町見守りネットワーク

代表

副代表

1組～5組

田中町見守りネットワーク 避難連絡網

清須市役所
052-400-2911

清須市広報確認
052-400-2913

清洲第2ブロック市政推進委員

自治会長

見守りネットワーク代表

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

※黒塗り部分の上段は氏名、
下段は電話番号です。

※二重枠は見守りネットワーク会員
一重枠は避難誘導希望者

[第1班]

[第2班]

